

平成30年度第2回岡山県立博物館協議会議録(要旨)

日時 平成31年3月19日(火) 10:00~12:00
会場 岡山県立博物館 講堂
出席者 委員：村木議長、岡本副議長、福本委員、美咲委員、中嶋委員、岡野委員、光本委員、
三田委員、伊勢崎委員、清水委員
博物館：山田館長、塩田副館長、中田統括学芸員、竹原総括参事、重根学芸員(主幹)、
秋山学芸員(主幹)、宇垣主任、池田主事、服部主任
文化財課：大西課長、横山参事(兼務)
欠席者 清友委員、小田委員、延江委員、名木田委員、鳥井委員

1 開 会

2 開会あいさつ 山田館長あいさつ

3 委員改選について 議長・副議長の選出

4 協議・報告事項

- (1) 平成30年度事業について
 - ア 展覧会
 - イ 教育普及事業
 - ウ 入館状況
- (2) 平成31年度事業計画(案)について
 - ア 展覧会
 - イ 予算
- (3) 県立博物館耐震改修等について
- (4) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について
- (5) その他

委員からの意見・提案

- ①「ゆかりの肖像」ではワークショップを開催した。地域の団体との連携というのは必要で、今後他の展示会でも実施して欲しい。
- ②刀の展示のところで、刃紋がよく見えるよう手を置いて見る方法を案内しているのは良いアイデアだと思う。
- ③県博の展覧会の講演会は毎回好評で、講堂に入れなほどの人が集まることもある。ホールにプロジェクターを設置して聞いてもらう様な工夫をしていたこともある。これは他館と比べてすごいことである。さらに講演会をアピールする手段を検討してみてもどうか。
- ④SNSの発信は増えているが、最近の若い人はフェイスブックを見ないでインスタグラムを利用している。そういったものを活用してみてもどうか。
- ⑤来年度は3月31日まで展覧会を行う予定となっているが、山鳥毛は展示しないのか。
- ⑥まもなく元号が変わるが、平成を振り返ってとか、平成という一つの時代が終わるという視点でなにか展示の工夫ができないか。
- ⑦海外のインバウンドが増えている。岡山には2千人位の留学生がおり、国は様々だが、近隣の大学に在学している。留学生に翻訳をしてもらうなど、大学と連携して行えば予算を使わずにインバウンド対策ができると思うがどうか。岡山に来た意味を感じてもらい、世界に発信してもらえればいいのではないかと思うので、何か連携できることがあれば検討して欲しい。
- ⑧ただ単に改修するために2年間閉館するというだけではなく、県立博物館を何かの形でPRするなど、閉館中の2年間をいかに活用するかも大きな課題である。今後のリニューアルオープンに繋がるように、この2年間で有効活用して欲しい。
- ⑨全館改修するということは、収蔵庫の中の国宝や重要文化財を他の施設に預かってもらう事になるのではないかと思う。岡山の文化財を発信するという意味で、預かって頂く期間に展示してもらうなど、岡山の文化を何らかの形で発信できるようなことも検討して欲しい。

5 閉 会